

自発的な個人の計画立案を重視した 業務効率化活動

株式会社デンソー ITS技術2部

山元 健史

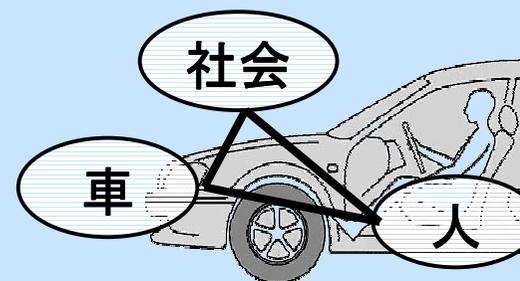
DENSO

SPI Japan 2009 「自発的な個人の計画立案を重視した業務効率化活動」

DENSO 株式会社デンソー

情報安全事業グループ

クルマと人、クルマと社会、人と社会をつなぐ様々な運転支援システムの開発



ボデー機器事業部

ITS事業部

走行安全事業部

主要製品



カーナビ



ETC

顧客要求の多様化

- 各メーカーが独自性を追求

開発規模の増大

- ナビゲーションの多機能化

並行開発

- 限られたリソースの有効活用

自動車の好調もあり、順調に成長

2. 活動の背景 ～チームの状況～

4/16

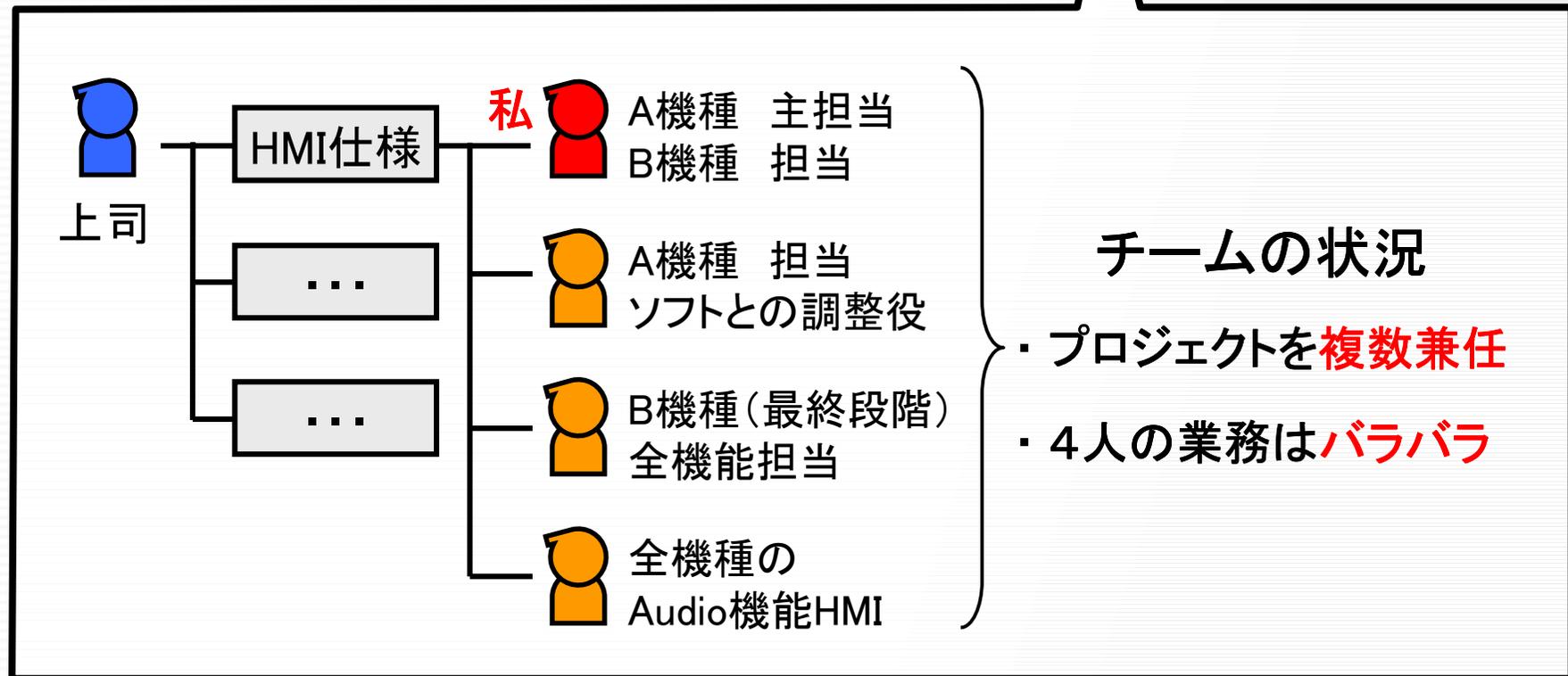
ITS事業部

カーナビ
(ソフト)

仕様

HMI

* HMI :
Human
Machine
Interface



DENSO

SPI Japan 2009 「自発的な個人の計画立案を重視した業務効率化活動」

© DENSO CORPORATION All rights reserved.

3. 活動のきっかけ（1）

5/16

経済環境の変化

- 組織レベルの効率化活動の推進

個人の仕事の変化

- 仕事量の増大と時間短縮



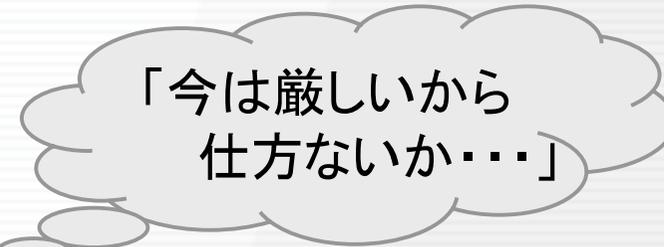
プロジェクトの効率化は
個人のがんばりに
支えられていた



対応能力の不安



モチベーション維持が困難



仕事に対する不安と漠然とした危機感

DENSO

SPI Japan 2009 「自発的な個人の計画立案を重視した業務効率化活動」

© DENSO CORPORATION All rights reserved.

3. 活動のきっかけ (2)

6/16

【各メンバーの状況】

- ・ 漠然とした **危機感** → 仕事の**効率が上がらない**
- ・ 仕事に対する**不安** → どうしていいかわからない

【上司の想い】

- ・ 上司からの指示では・・・
⇒ 画一的となり、やらされ感が拭えない
- ・ 自主的な取り組みならば・・・
⇒ 自分に合った計画を作ることが、
効率化に繋がるのでは・・・



解決策の取り組み

チームで個人毎の自発的な計画立案を促す

DENSO

SPI Japan 2009 「自発的な個人の計画立案を重視した業務効率化活動」

© DENSO CORPORATION All rights reserved.

＜自発性を誘発する改善モデル＞

Step 3

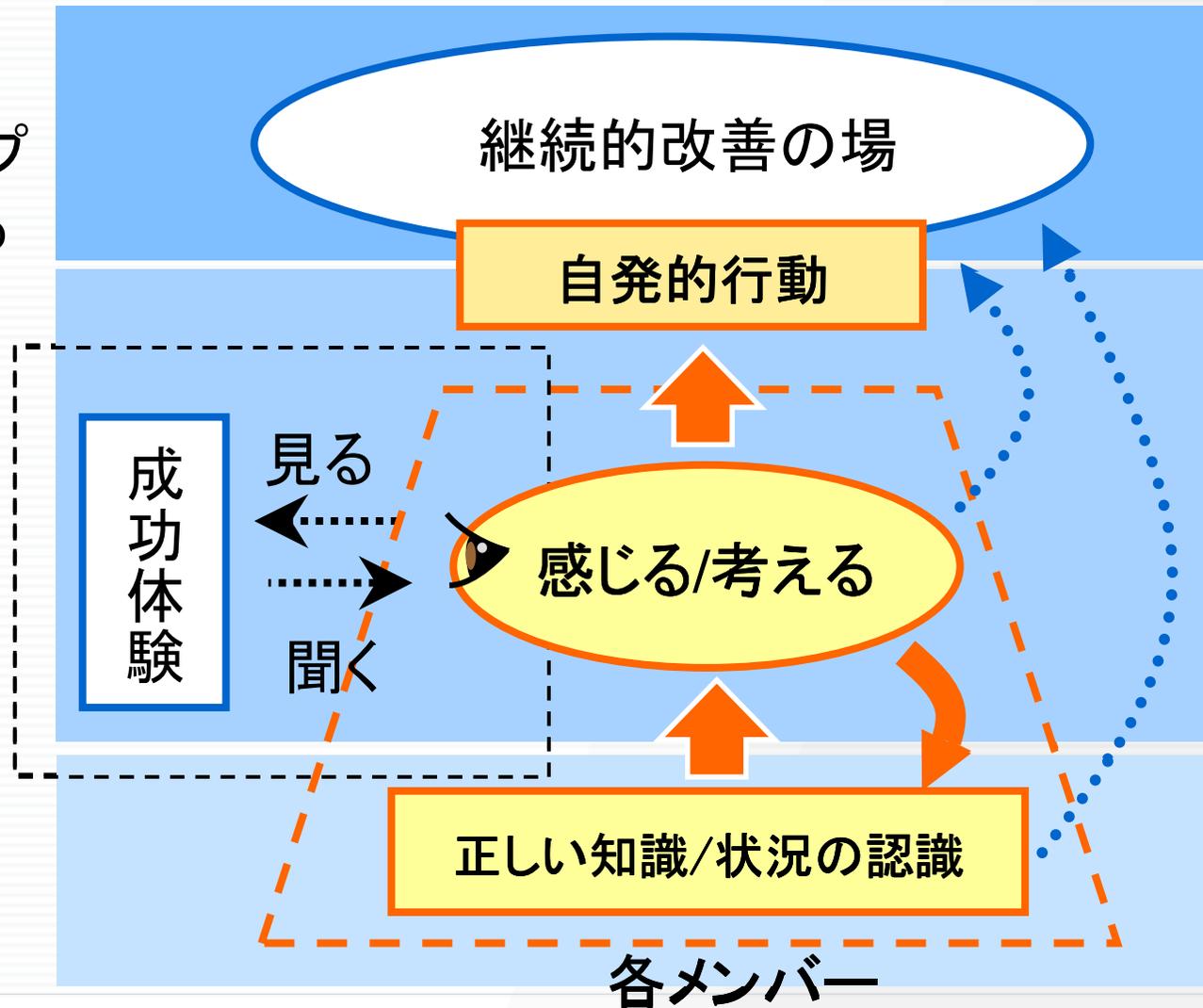
スパイラルアップ
の仕組みを作る

Step 2

自発的行動を
誘発する

Step 1

土壌を作る



【ねらい】

正しい知識の習得と状況認識を共有する

【進め方】

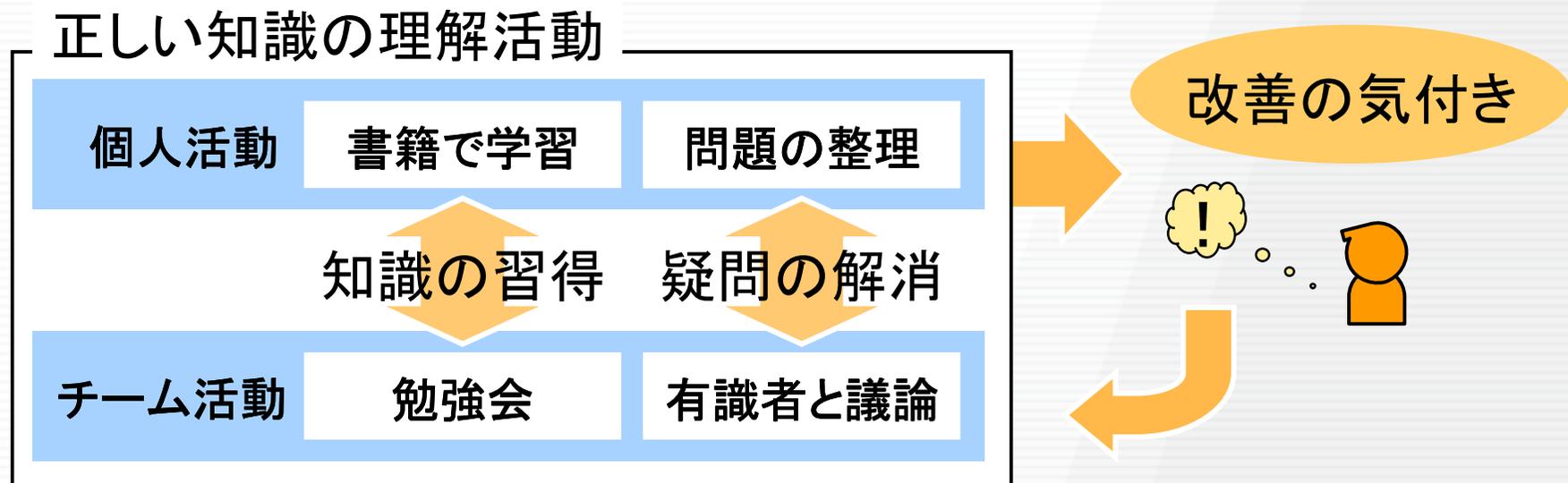
正しい知識と疑問点を理解した上で、
今後の活動に対しての誤解を解消する

自分とメンバーの置かれた状況の再認識する

5. Step 1 : 土壌を作る (2)

9/16

【具体的な活動】 計画に関する書籍の自己学習と
有識者を交えて疑問点を議論する



- 【結果】
- ① 計画についての基礎知識が腹に落ちた
 - ② 各自の改善点にも気付き始めた
 - ③ 共通の言葉を使うようになった

5. Step2: 自発的活動を誘発する ①

10/16

【ねらい】

Step1で得た正しい知識、状況の再認識に基づいて、各自が行動に移す

【進め方】

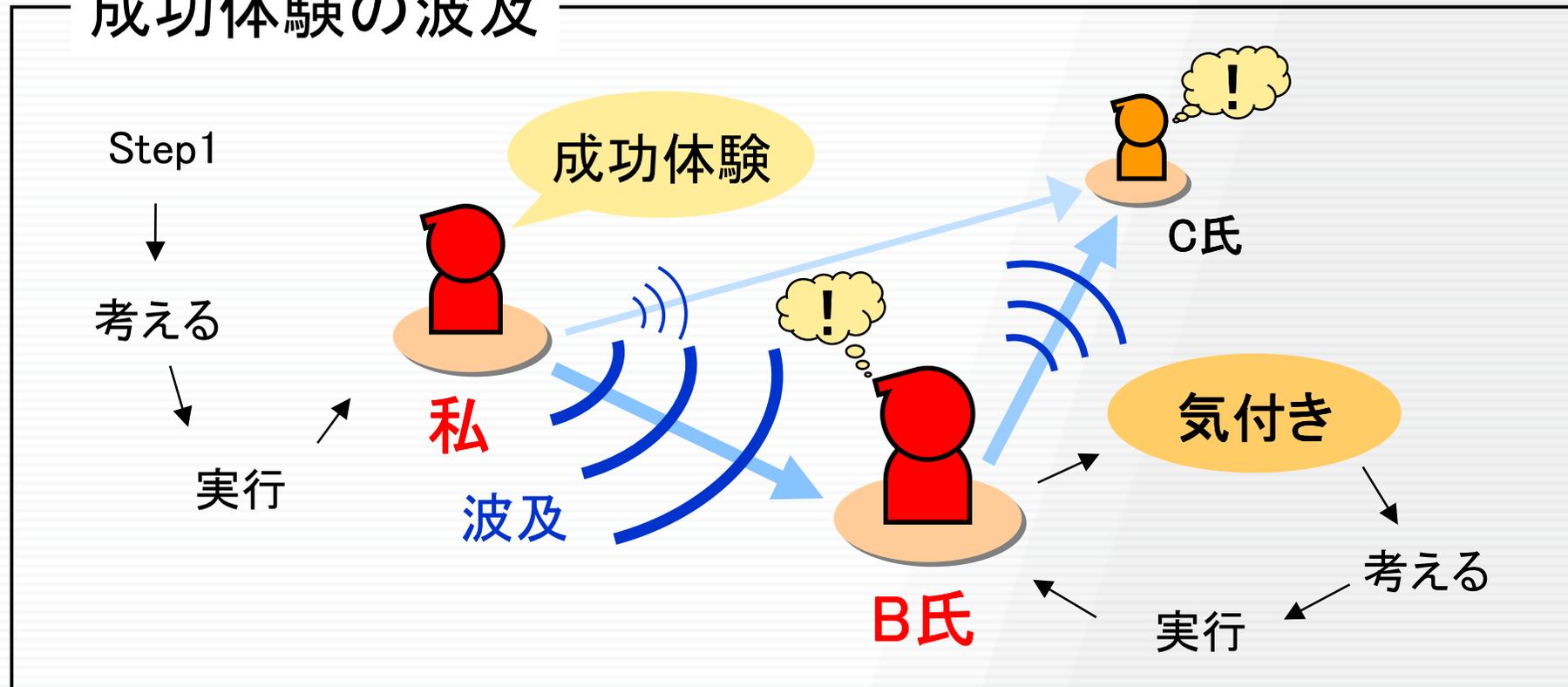
同じ立場の人の成功体験により、モチベーションを高め、自発的な行動を促す

5. Step2: 自発的活動を誘発する ②

【具体的な活動】

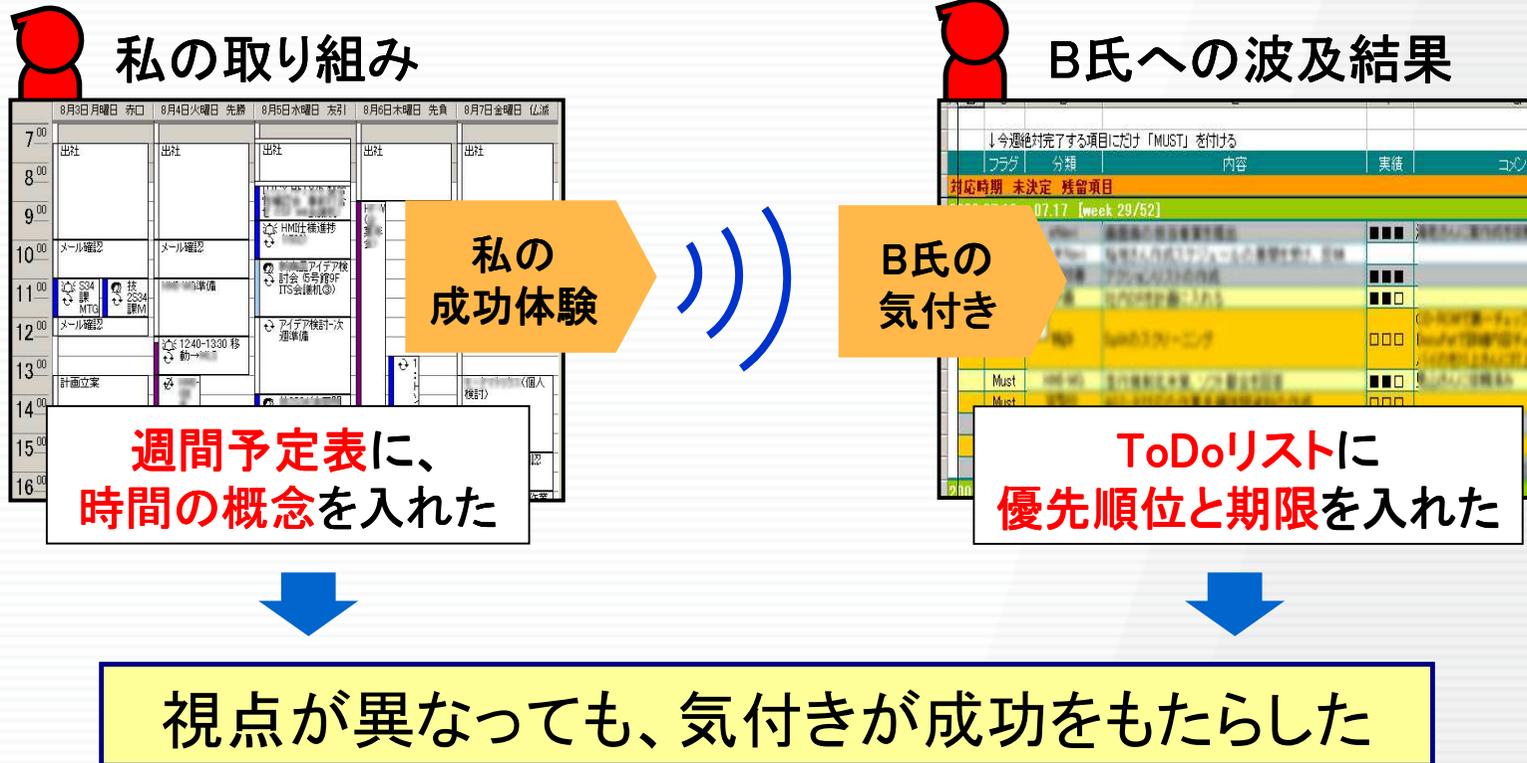
- ① 私が、自分の計画改善活動を実施した
- ② そこで得た成功をメンバーに紹介した

成功体験の波及



5. Step2: 自発的活動を誘発する ③

【具体事例】



- 【結果】
- ① 成功体験を聞くことで、自発的に行動を始めた
 - ② 成功体験を話すことで、新しい気づきを得た

【ねらい】

新たな効率化のアイデアを継続的に生み出す

【進め方】

個人の自発的な活動の成果を共有する場を作る
情報共有の場で自分の成果を紹介することにより

新たな改善のヒントを提供しあう

【具体的な活動】

- ・ 概要 : 1時間/週 開催
- ・ 運営のポイント

成功体験に基づいて人の意見にコメントする

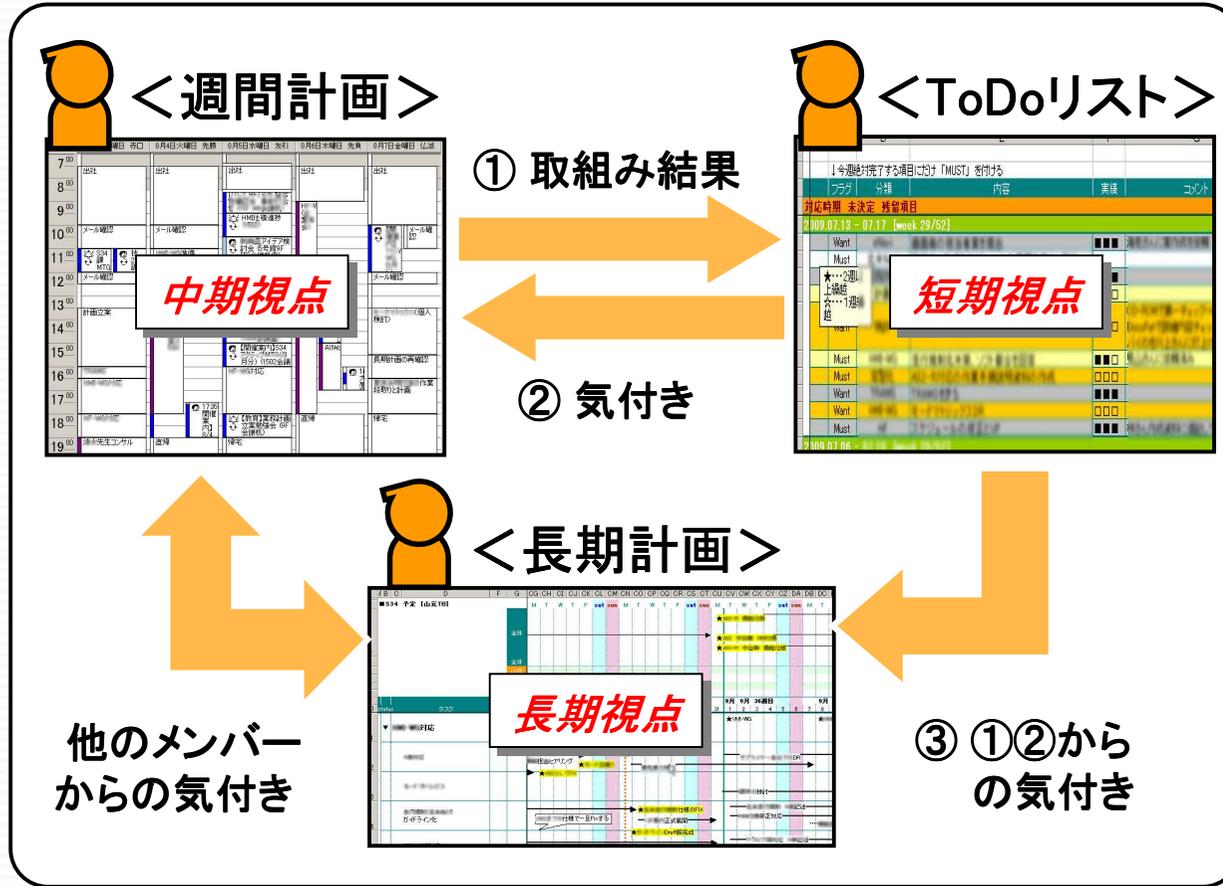


- 否定的な発言がでない
- 違う観点の意見が得られる
- 経験、体験が聞ける

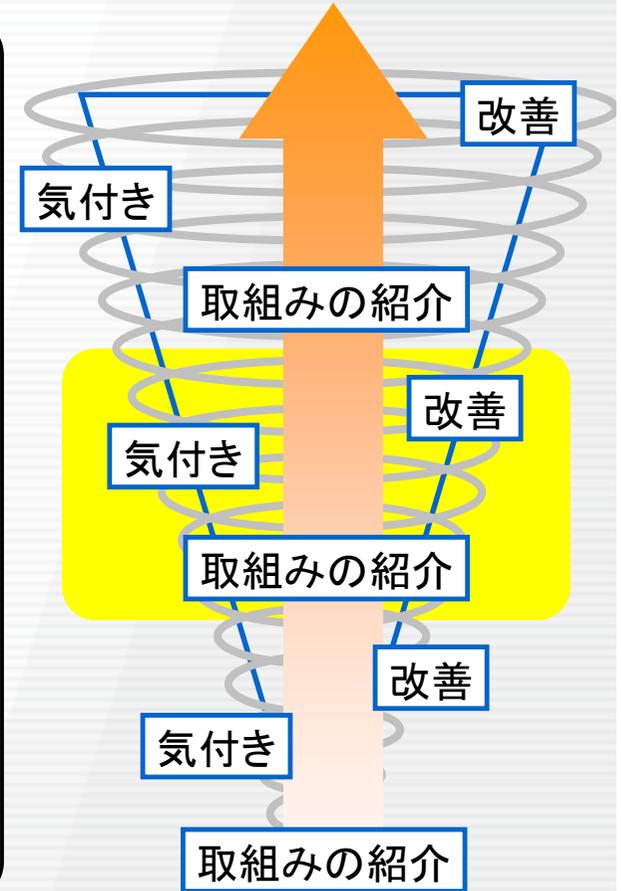
= “心地よさ”が
期待感に繋がる

5. Step3: スパイラルアップの仕組みを作る (3)

【具体的な活動】



【改善のスパイラル】



気付きから改善のヒントを得る仕組みが定着

【まとめ】

- ・ 個人の自発性を誘発するコンセプトをモデル化した
- ・ そのモデルに基づいて活動を振り返ることにより、

自主的な活動を推進する上での要点を抽出することができた

Step1: 土壌を作る

Step2: 自発的活動を誘発する

Step3: スパイラルアップの仕組みを作る

- ・ 本活動により計画立案における改善活動の仕組み
ができた（本活動は継続中）

ご清聴ありがとうございました

DENSO

SPI Japan 2009「自発的な個人の計画立案を重視した業務効率化活動」

© DENSO CORPORATION All rights reserved.